

第896号

令和6年1月5日

佐渡市立金井小学校

佐渡ことば・こころの教室

教室だより

〒952-1209

佐渡市千種丙178番地1

TEL:0259(63)4156(直)

4115(代)

FAX:0259(63)4117

E-mail:skotoba@sado.ed.jp

HP:<http://kanai-es.sado.ed.jp>

居心地のよい学級・学校づくり



佐渡市教育委員会
教育長 香遠 正浩

1年前に改訂された生徒指導提要では、SOSの出し方について多く記載されるようになりました。学校教育において援助を求めることがこれまで以上に重視されています。

悩みや不安などはいつ起こるか分かりません。自分自身で課題に向き合うことは大切ですが、必要に応じて人に頼ったり、助けを求めたりすることは恥ずかしいことではないことを、日頃から子どもたちに伝えていくことが重要です。

また、相談をすることで実際に援助が得られるという期待感がもてることも大事です。そのためには「この先生は真剣に聞いて受け止めてくれる」と、子どもが感じられるような日々の関わりが大切です。

どの子も夢と希望をもって新年を迎えています。どの子にとっても居場所があり、居心地のよい学級・学校環境づくりを佐渡市教委は支援してまいります。



ヘッドホン・イヤホン難聴に要注意！



佐渡総合病院 耳鼻咽喉科
医長 吉岡 邦暁

皆さんは、音楽やゲームを聴くときにヘッドホンなどを使用することが多々あると思います。実はヘッドホンを大音量で長期間使用すると、聴力の低下（ヘッドホン・イヤホン難聴）を認める場合があります。なかなか気付きにくく、進行がゆっくりであるため、耳がダメージを受けていると発覚したころには回復困難な状態になってしまいます。例えば今10代の皆さんがヘッドホンで音楽を聴いていても、難聴が判明するのは、40歳以上になってからになる可能性が高く、そのくらいに気付くのが難しい病気です。残念ながら、気付いたときには回復させる手段がないため、予防が非常に重要です。

予防のポイントは音量と耳を休ませることです。お子さんは、1日当たり5時間程度の使用に制限し、1時間に10分程度は耳を休ませるようにして、音量も周囲と会話できるくらいにとどめるようにしましょう。未来の耳の為に、耳をいたわって生活しましょう。

それぞれのサンタ^{システム}作戦

授業の始めに、コミュニケーション力向上のために最近の話をしてもらっています。12月・1月のこの時期は、クリスマスの話題になることが多いです。

「サンタさんはお母さんだって知ってるから、欲しいものを頼んだけど、これは弟には内緒」「現金でもらう（高学年）」「アマゾンで来る」「家にはママにも来るんだよ」（←これいいなあ）それぞれの家^{システム}でそれぞれのサンタ作戦があります。坂井家は「サンタさんに伝えなくてはいけないから何が欲しいか教えて」の受注作戦でした。

授業の中で子どもと一緒に色々な作戦を立てます。「次の教室の時間までこれを頑張ってみよう。」「すぐに目標達成は難しいので、じゃあ次はこうしてみようか。」と作戦変更をします。そうしていくうちに、その子の課題に合った作戦^{システム}が見えてきます。

授業に集中できないと悩みを打ち明ける子は多いのですが、その理由は子どもによってそれぞれです。サンタ作戦のようにワクワク感のある、その子に合った作戦をこれからも子どもと一緒に考えていきたいです。

（坂井 直子）



親の会コーナー



小学生保護者の声

息子は、コミュニケーションが苦手な子でした。そのため、物事の伝え方等をずいぶん悩みました。しかし、ことば・こころの教室に通うようになって、徐々にコミュニケーションがスムーズにとれるようになってきました。これも先生方の丁寧なご指導のおかげです。

家では、叱るべき時はしっかり叱りますが、その分良い時は小さなことでもきちんとほめるようにしています。また、ささいなことでもお互い「ありがとう」と伝えるように心掛けたら、以前より笑顔が増えてきた気がします。息子が教室に通うことで、私も少し成長できた気がします。とても感謝しています。



息子は、毎回教室に通うことを楽しみにしています。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

11/11(土) 第2回 親の会学習会報告

- ・上映会「注文に時間がかかるカフェ～僕たちの挑戦～」
- ・講演会「注文に時間がかかるカフェ」発起人 奥村安莉沙 様

たくさんの方からご参加いただき、感想を寄せていただきました。

- ・吃音について知らないことばかりで反省します。自分ができることは何か？と考えるきっかけとなりました。ありがとうございます。
- ・吃音があっても周囲の理解を深めることで自信がもてることに感動しました。私は大人になって吃音がありますが周りに伝えていません。言葉がつまることがあるので不安がたくさんあります。
- ・大変すてきな会でした。映画の中の輝く若者たちの姿にも感動しました。ありがとうございました。



- ・当時は吃音の存在を知りませんでしたが、大学時代の後輩が吃音のある子でした。彼を取り巻いていた環境や感じていたこと的一端を知りたくて今回参加しましたが、自分の無知が彼を傷つけていなかったらと思うと振り返る機会になりました。続けて学んでいけたらと思います。
- ・誰も夢をあきらめることのない社会、理解が必要だと思いました。吃音だけでなく、悩みを抱える人、子どもたちに耳を傾け、寄り添っていきたいと思いました。

令和6年
6月22日(土)
佐渡で
「注カフェ」を
開店します。